

# 九電グループ経営ビジョン2030

九電グループは、今後も事業活動を通じて、基盤である九州の持続的発展に貢献し、地域・社会とともに将来にわたって成長していくために、長期的な視点に立った経営の方向性として、2019年6月に「九電グループ経営ビジョン2030」を策定しました。

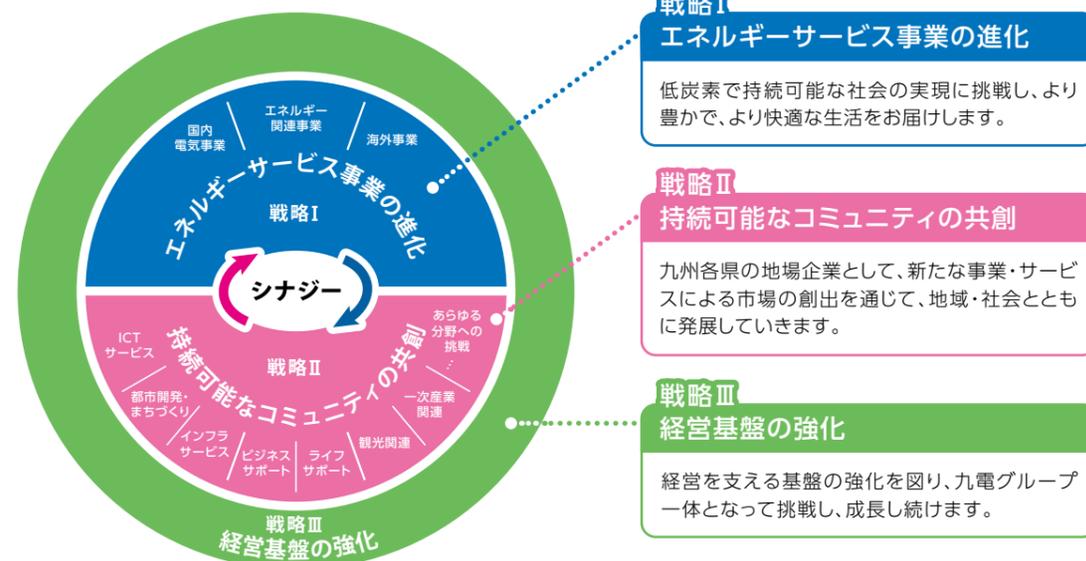
本経営ビジョンでは、「2030年のありたい姿」とその実現に向けた3つの戦略を定めるとともに、4つの経営目標を設定しています。

九電グループは、本経営ビジョンのもと、グループ一体となって様々な取組みを進めることにより、地域・社会とともに持続的な成長を目指すとともに、ステークホルダーの皆さまへの価値提供を果たしていきます。

## 2030年のありたい姿

### 九州から未来を創る九電グループ ～豊かさで快適さで、お客さまの一番に～

#### ありたい姿実現に向けた3つの戦略



#### ESGへの取組み

九電グループは、経営環境が大きく変化していく中において、中長期の企業価値向上を目指し、ESGの取組みを積極的に推進していきます。

<b>Environment (環境)</b>	<b>戦略Ⅰ</b> 再エネ・原子力の活用による非化石電源比率の向上や電化の推進等により、低炭素で持続可能な社会の実現に貢献します。
<b>Social (社会)</b>	<b>戦略Ⅱ</b> 新たな事業・サービスによる市場の創出を通じて、地域・社会が抱える様々な課題の解決に貢献します。
<b>Governance (企業統治)</b>	<b>戦略Ⅲ</b> 九電グループの成長を支える経営基盤を強化します。

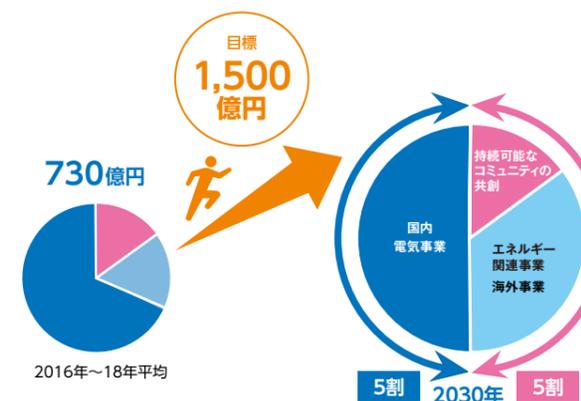
国連で採択されたSDGs(\*)についても、ESGの視点によるサステナビリティへの取組みの推進や九電グループの持続的な成長につながるものとして、その達成に貢献していきます。

(\*) 2015年に国連サミットで採択された国際社会全体の「持続可能な開発目標」であり、2030年を期限とする17の目標で構成

## 2030年経営目標

連結経常利益	<b>1,500億円</b> (国内電気事業5割、その他事業5割)
--------	--------------------------------------

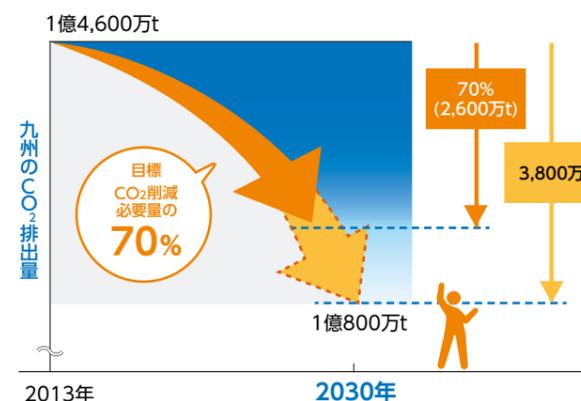
グループ一体となりありたい姿実現に向けた戦略を推進し、2030年の連結経常利益1,500億円(国内電気事業5割、その他事業5割)を目指します。



[株主還元について] 利益還元としての配当については、まずは震災前水準(50円程度/株)を目指していきます。その上で、将来的には、安定配当を基本としつつ、その他事業の成長を踏まえた利益還元を考慮することで、株主還元へのさらなる充実を図っていきます。

#### 九州のCO<sub>2</sub>削減必要量の70%の削減に貢献

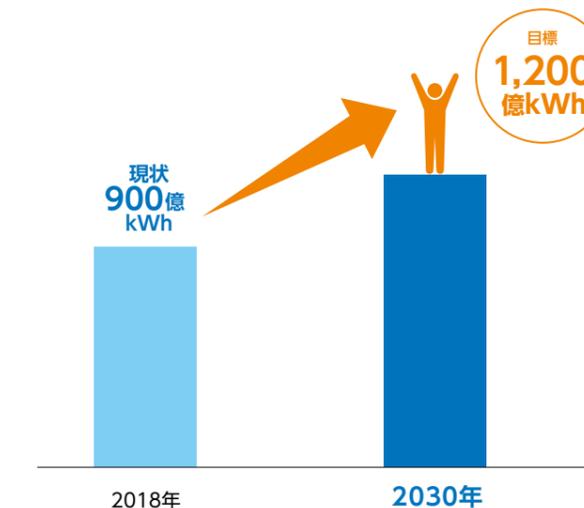
再エネ・原子力の活用による非化石電源比率の向上や電化の推進等により、九州のCO<sub>2</sub>削減必要量(\*)の70%(2,600万t)の削減に貢献します。



(\*) 日本の中期目標は、2030年に2013年比で▲26%⇒この目標を九州に置き換えると、2013年の九州のCO<sub>2</sub>排出量は1億4,600万tであるため、九州のCO<sub>2</sub>削減必要量はその26%にあたる約3,800万t

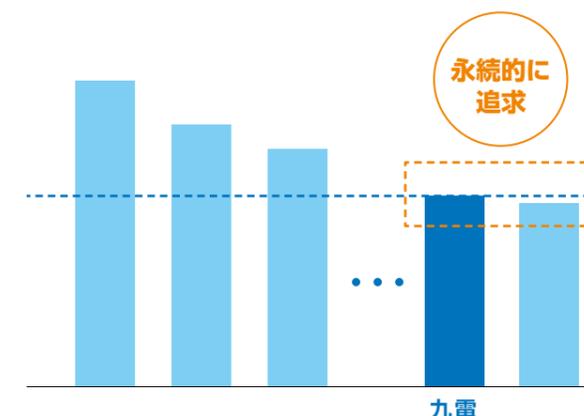
総販売電力量	<b>1,200億kWh</b>
--------	------------------

国内及び海外での小売・卸売を合わせた総販売電力量1,200億kWhを目指します。



#### トップレベルの電気料金の持続的な追求

ありたい姿実現に向けた戦略の推進を通じて、トップレベルの電気料金(\*)を持続的に追求していくことで、地域活性化に貢献し、九州とともに九電グループも成長していきます。



(\*) 再生可能エネルギー発電促進賦課金、燃料費調整額、消費税を除く

## 2030年の九州と九電グループ



九電グループは、「ずっと先まで、明るくしたい。」というブランドメッセージのもと、豊かで快適な生活につながるエネルギーサービスをお届けするとともに、新たな技術の活用や他社とのアライアンス等を通じて、社会的課題の解決に貢献し、地域・社会と共に九州から未来を創っていきます。

